

島根原子力発電所及び 人形峠環境技術センター周辺 環境放射線等測定結果（速報）

（令和 7 年度 第 1 四半期）

令和 7 年 1 0 月
鳥 取 県

ま え が き

鳥取県では、「令和7年度環境放射線等測定計画（島根原子力発電所及び人形峠環境技術センター周辺）」に基づき、原子力施設周辺の環境放射線監視を実施しています。

本報告書は、令和7年4月から令和7年6月までの第1四半期の監視結果について、「鳥取県原子力安全顧問ワーキンググループ（モニタリング分野）」において検討し、確認されたものを速報としてとりまとめたものです。

目 次

まえがき

令和7年度平常時モニタリング測定結果（第1四半期）

ページ

【Ⅰ 島根原子力発電所周辺】

1 目的区分	1
2 測定概要	1
(1) 概要	1
(2) 実施機関	1
(3) 実施内容	1
(4) 測定結果の評価方法	1
3 令和7年度測定結果（第1四半期）	6
(1) 測定結果概要	6
(2) 測定項目別の結果	13

【Ⅱ 人形峠環境技術センター周辺】

1 目的区分	23
2 測定概要	23
(1) 概要	23
(2) 実施機関	23
(3) 測定項目等	23
(4) 測定結果の評価方法	23
3 令和7年度測定結果（第1四半期）	27
(1) 測定結果概要	27
(2) 測定項目別の結果	30

【Ⅲ 平常の変動幅超過に係る検証】

検証1 米子局における降下物中の Cs-137 の検出について	34
---------------------------------------	----

【Ⅳ 参考資料】

1 環境試料中の放射性核種の検出下限（定量下限）値	39
(1) 島根原子力発電所周辺	39
(2) 人形峠環境技術センター周辺	44
2 気象測定結果	45
(1) 島根原子力発電所周辺	45
(2) 人形峠環境技術センター周辺	50

令和7年度平常時モニタリング測定結果（第1四半期）

【I 島根原子力発電所周辺】

1 目的区分

鳥取県における島根原子力発電所周辺の環境放射線測定は、「平常時モニタリングについて（原子力災害対策指針補足参考資料）」（以下「補足参考資料（平常時）」という。）に示す平常時モニタリングの目的のうち、次に掲げる目的において実施する。

なお、補足参考資料（平常時）の最低限実施が必要な項目には該当しないが、環境中の経時変化を把握する上で参考となる項目又は測定技術の保持が必要と考えられる項目については、「（参考）」として測定を継続する。

④ 緊急事態が発生した場合への平常時からの備え

（参考）環境中の経時変化の把握又は測定技術の保持

2 測定概要

（1）概要

境港市及び米子市に設置している固定型及び可搬型モニタリングポスト、蛍光ガラス線量計によって空間放射線の測定を行うとともに、さらに固定型モニタリングポストでは、大気浮遊じんの全 α 及び全 β 放射能濃度測定を行った。また、環境試料中の放射性核種濃度の変動を把握するために、大気浮遊じん、降下物、陸水、土壌、植物等の核種分析を行った。

（2）実施機関

鳥取県原子力環境センター

民間測定事業者（委託分析）

（3）実施内容

令和7年度第1四半期の平常時モニタリングは、令和7年度環境放射線等測定計画に基づき実施した。当該計画の主な内容は、以下のとおりである。

ア 測定計画

表I-2-1のとおり。

イ 測定地点

図I-2-1、図I-2-2のとおり。

ウ 測定方法及び測定機器

表I-2-2のとおり。

（4）測定結果の評価方法

環境放射線等測定結果の評価は、測定項目及び地点ごとに、詳細調査を開始するための閾値として過去の測定結果より「平常の変動幅」を設定し、四半期ごとに取りまとめた測定結果が「平常の変動幅」を超過した場合には、原子力施設の影響、気象や自然放射性核種等の影響などについて要因の調査を行う。

なお、「平常の変動幅」を設定するためのデータの蓄積が少ないものについては、本調査結果に加え、全国の調査結果等を参考に評価を行う。

表 I-2-1 令和7年度環境放射線等測定計画（島根原子力発電所周辺）

1 空間放射線

項目区分	目的 区分	測定地点	測定 地点	測定 期間	測定 件数	測定機器	測定方法
空間放射 線量率	④	境港市上道町(境港局) 米子市河崎(米子局)	2	連続測定	—	NaI (TI) シンチレーション検出器 (固定型モニタリングポスト)	放射能測定法シリーズ「連続モニタによる環 境 γ 線測定法」
	④	境港市外江町(外江公民館) 境港市竹内町(余子公民館) 境港市財ノ木町(中浜公民館) 米子市和田町(和田公民館) 米子市彦名町(彦名公民館) 米子市大篠津町(大篠津公民館) 米子市夜見町(夜見公民館)	7	連続測定	—	NaI (TI) シンチレーション検出器 (可搬型モニタリングポスト)	放射能測定法シリーズ「連続モニタによる環 境 γ 線測定法」
積算線量	(参考)	境港市上道町(境港局) 米子市河崎(米子局) 境港市外江町(外江公民館) 境港市渡町(渡公民館) 境港市竹内町(余子公民館) 境港市財ノ木町(中浜公民館) 米子市和田町(和田公民館) 米子市大崎(崎津公民館) 米子市彦名町(彦名公民館)	9	4～6 月 7～9 月 10～12 月 1～3 月	36	蛍光ガラス線量計	放射能測定法シリーズ「蛍光ガラス線量計を 用いた環境 γ 線測定法」

※ 7 カ所に設置している可搬型モニタリングポストは、緊急時における OIL 判断に使用するとともに、放射線に係る理解向上など普及啓発と広報を目的に、平常時から空間放射線量率の測定・データ公開を行っている。

2 大気浮遊じん全 α 及び全 β 放射能

項目区分	目的 区分	測定地点	測定 地点	測定 期間	測定 件数	測定機器	測定方法
大気浮遊じん 放射能	(参考)	境港市上道町(境港局) 米子市河崎(米子局)	2	連続測定	—	ZnS (Ag) + プラスチックシンチレーション検 出器 (固定型モニタリングポスト)	放射線測定法シリーズ「全 β 放射能測定 法」 JISZ4316 「放射性ダストモニタ」

3 環境試料中の放射性核種分析

項目区分	試料	部位	目的 区分	採取地点	採取頻度		測定項目/件数			測定機器	測定方法
					頻度	採取月	γ線 核種	H-3	Sr-90		
大気	浮遊じん	—	(参考)	境港市上道町 (境港局)	毎月		12			γ線放出核種： 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 によるγ線スペクトロメトリ」	
				米子市河崎 (米子局)			12				
降下物	降下物	—	(参考)	境港市上道町 (境港局)	毎月		12			γ線放出核種： 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 によるγ線スペクトロメトリ」	
				米子市河崎 (米子局)			12				
陸水	水道水	蛇口水	④	境港市上道町	3年毎 年2回	R8				γ線放出核種： ゲルマニウム半導体検出器 H-3(委託分析)： 低バックグラウンド液体シンチレーションカ ウンタ	γ線放出核種： 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 によるγ線スペクトロメトリ」 H-3： 放射能測定法シリーズ「トリチウム分析法」 Sr-90： 放射能測定法シリーズ「放射性ストロンチウム分析 法」
				米子市河崎			R9				
		原水	④	米子市福市		5,11月	2	2	2	γ線放出核種： ゲルマニウム半導体検出器	
				境港市幸神町 米子市夜見町		10月 10月	1 1				
植物	松葉	二年葉	(参考)	境港市馬場崎町	2年毎 年1回	7月	1	1		γ線放出核種： 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 によるγ線スペクトロメトリ」 Sr-90： 放射能測定法シリーズ「放射性ストロンチウム分析 法」	
公園 グラウンド	表層	④	米子市河崎	R8							
海水	海水	表層水	④ (参考)	境港市昭和町	2年毎 年2回	5,11月	2	2		γ線放出核種： 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 によるγ線スペクトロメトリ」 H-3： 放射能測定法シリーズ「トリチウム分析法」	
				米子市大篠津町	R8						
農産物	米	精米	(参考)	米子市夜見町	年1回	10月	1			γ線放出核種： 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 によるγ線スペクトロメトリ」	
	白ネギ ダイコン ワカメ	可食部 根 可食部	(参考) (参考) (参考)	境港市中海干拓地 境港市中海干拓地 境港市近海	年1回 年1回 年1回	12月 12月 4月	1 1 1				
海産生物	イワガキ セイゴ ナマコ	身 身 身	(参考) (参考) (参考)	境港市近海 境港市近海 境港市近海	年1回 年1回 年1回	7月 1月 3月	1 1 1			γ線放出核種： 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 によるγ線スペクトロメトリ」	

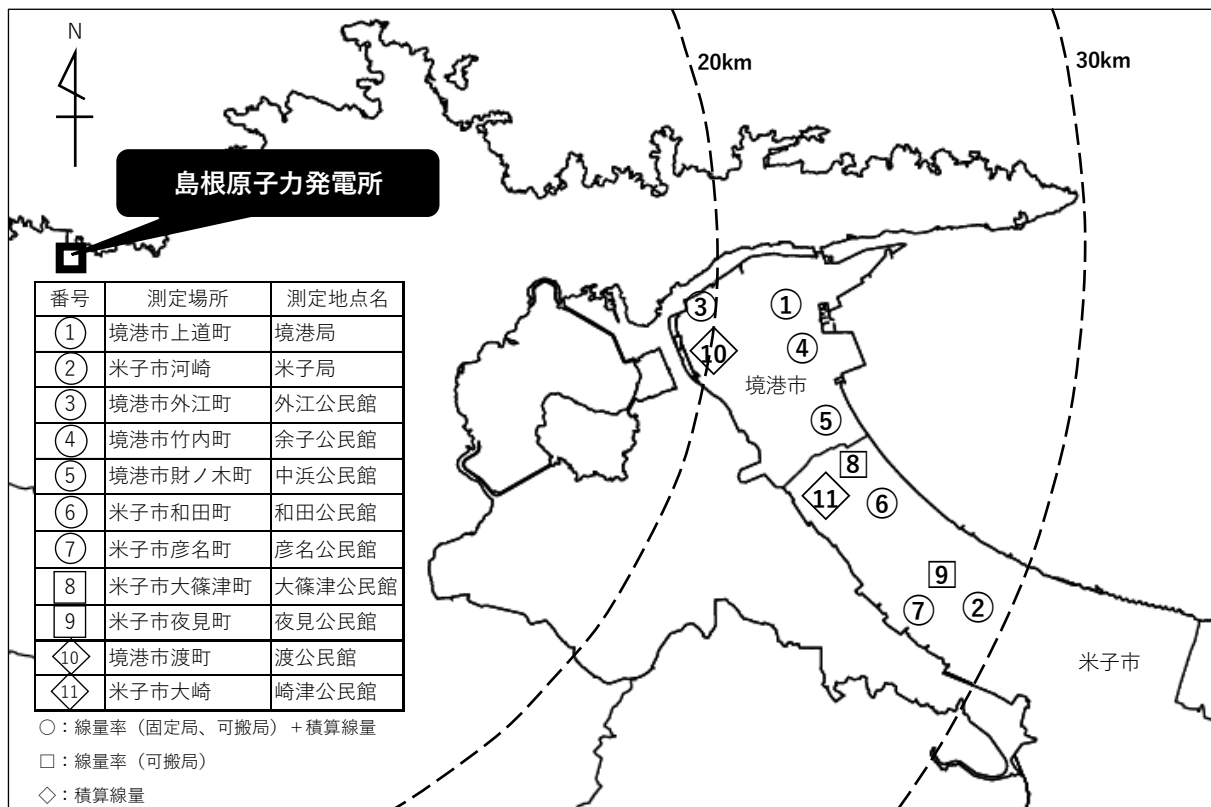


図 I - 2 - 1 空間放射線量率測定地点

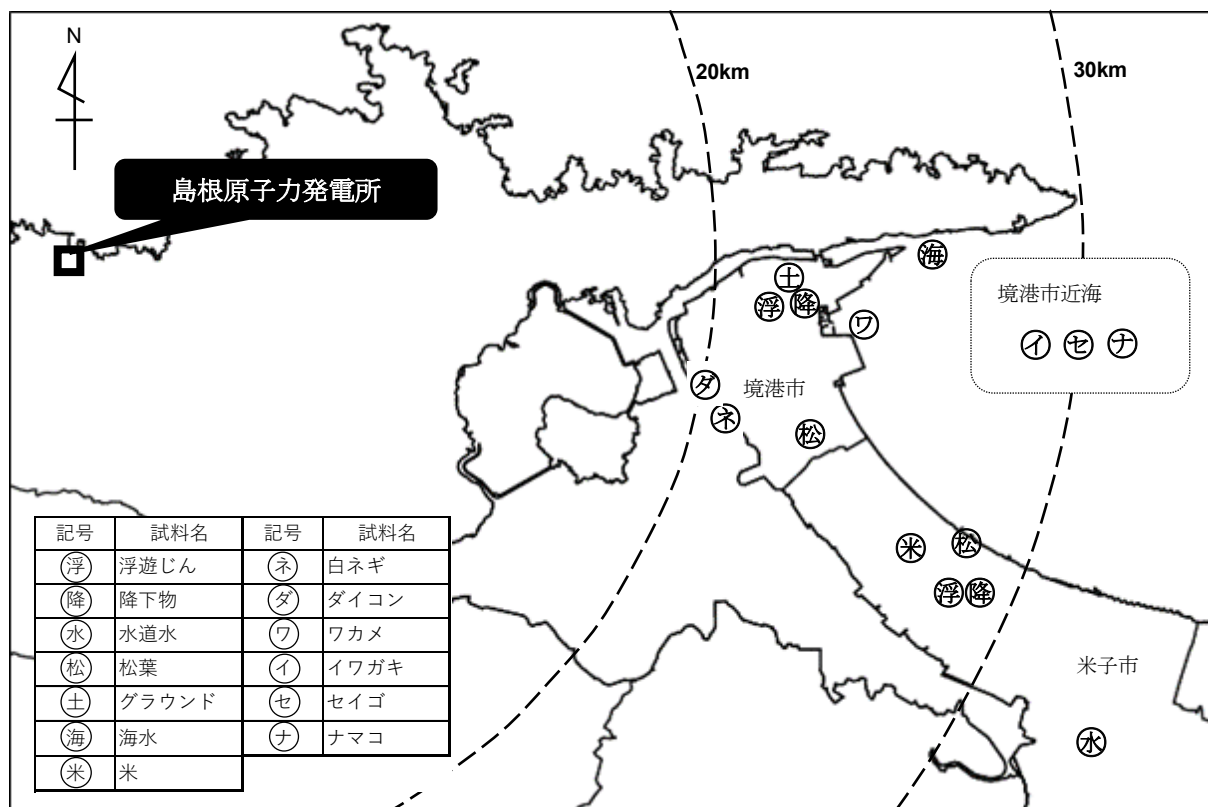


図 I - 2 - 2 環境試料採取地点

表 I - 2 - 2 測定方法及び測定機器

調査項目			測定方法	測定機器
空間放射線	空間放射線量率	NaI 放射線量率測定装置	連続測定 放射能測定法シリーズ「連続モニタによる環境 γ 線測定法」	NaI(Tl)シンチレーション検出器 (固定型モニタリングポスト) 日立製作所製 MSR-R54-21545R1 (可搬型モニタリングポスト) 富士電機製 NAH37401-B-BY2YY-S 日立製作所製 MAR-1561BR3
	積算線量	積算線量計	3ヶ月間毎の連続測定 放射能測定法シリーズ「蛍光ガラス線量計を用いた環境 γ 線測定法」	蛍光ガラス線量計(RPLD) 千代田テクノル製 ガラス線量計素子
大気	浮遊じん放射能	放射性ダストモニタ	連続測定 放射線測定法シリーズ「全 β 放射能測定法」JISZ4316 「放射性ダストモニタ」 (200 L/分で3時間集じん後、3時間測定)	ZnS(Ag)+プラスチックシンチレーション検出器 日立製作所製 DSM-RC52-20089-1
環境試料中放射性核種	浮遊じん	捕集フィルター	γ 線スペクトロメトリー 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器による γ 線スペクトロメトリー」	ゲルマニウム半導体検出器 セイコー・イージーアンドジー製 GEM30-70
	降下物	濃縮物		
	陸水	水試料/濃縮物		
	植物	灰化物		
	土壌	生試料/風乾物		
	海水	吸着物		
	農産物	生試料/		
	海産生物	灰化物 ^{※1}		
	陸水	水試料	トリチウム分析	低バックグラウンド液体シンチレーション測定装置 (委託分析により実施)
	海水		放射能測定法シリーズ「トリチウム分析法」	
	陸水	化学処理後の沈殿物	放射化学分析	低バックグラウンドベータ線測定装置 日立製作所製 LBC-4501
	土壌		放射能測定法シリーズ「放射性ストロンチウム分析法」	

※1 生試料を測定後、灰化处理して再度測定

3 令和7年度測定結果（第1四半期）

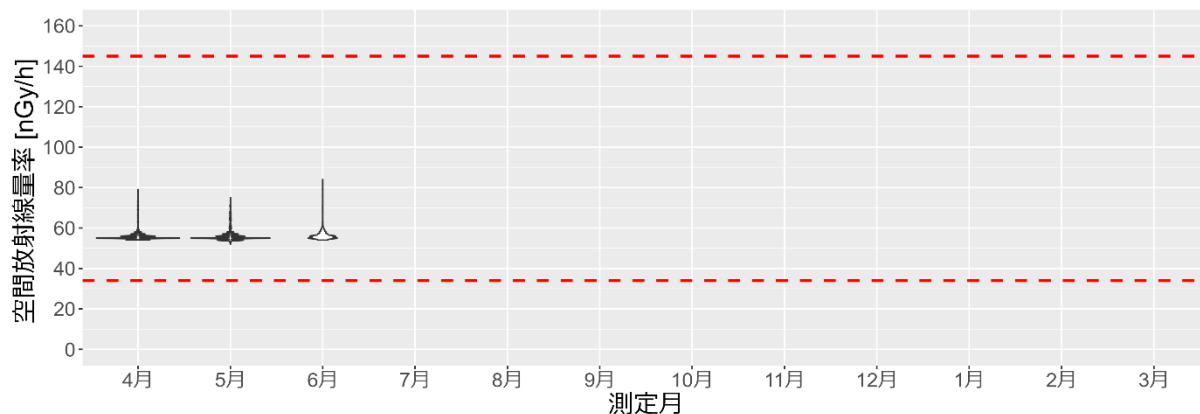
（1）測定結果概要

令和7年度第1四半期の島根原子力発電所に係る平常時モニタリング結果については、概ね過年度の測定結果と同レベルであり、原子力施設からの影響は認められなかった。

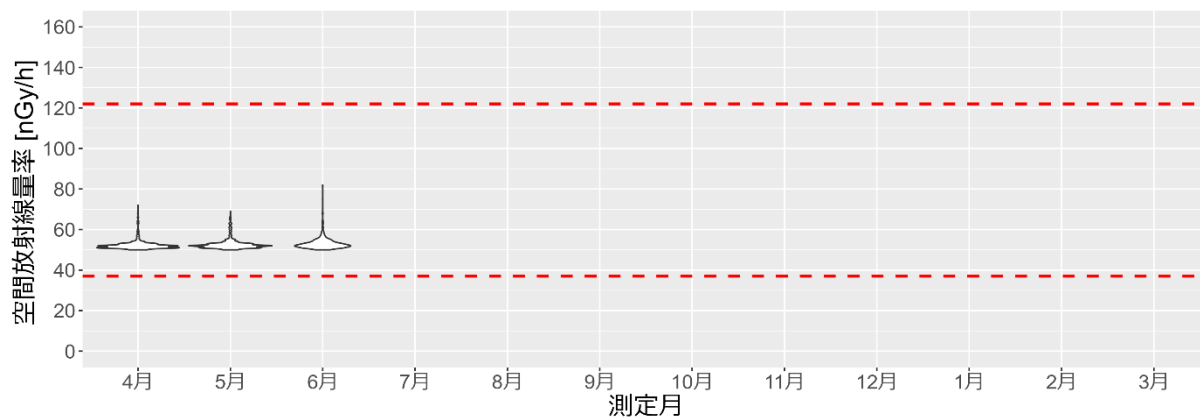
ア 空間放射線

（ア）空間放射線量率連続測定（固定型モニタリングポスト）

固定型モニタリングポスト2地点ともに平常の変動幅の範囲内であった。



境港局



米子局

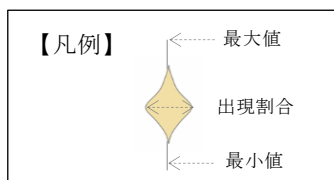
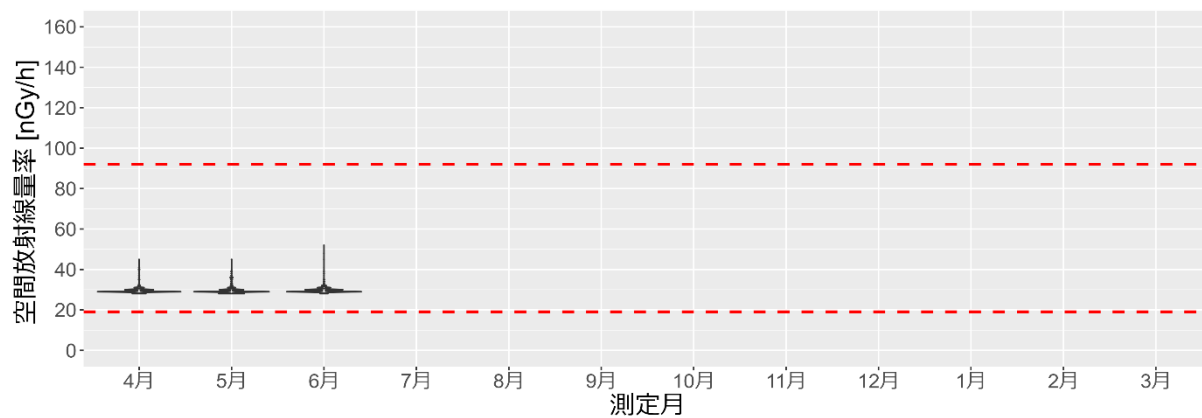
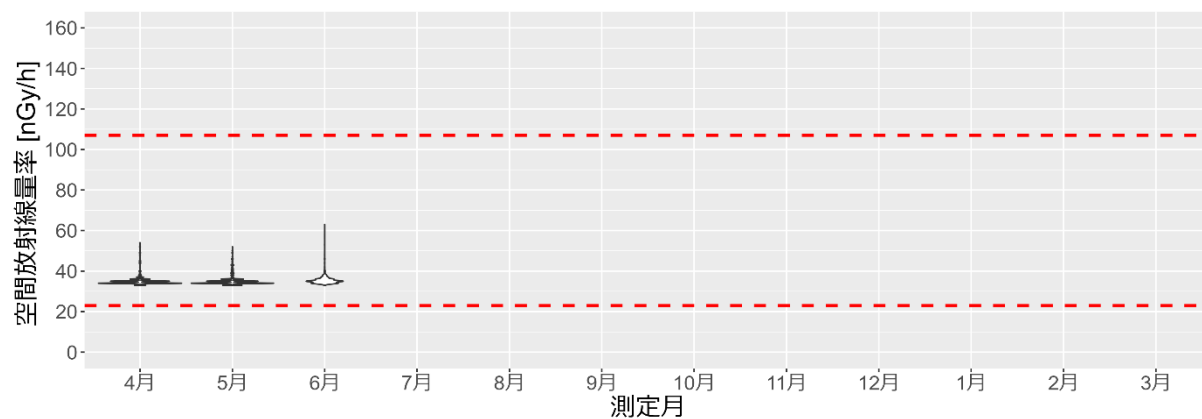


図 I - 3 - 1 a 空間放射線量率連続測定結果（固定型モニタリングポスト）

(参考) 緊急時の可搬型モニタリングポスト7地点の空間放射線量率連続測定結果は、
 全て平常の変動幅の範囲内であった。



外江公民館



余子公民館

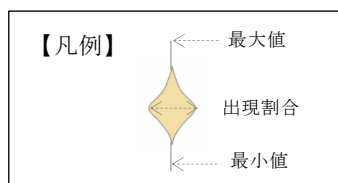
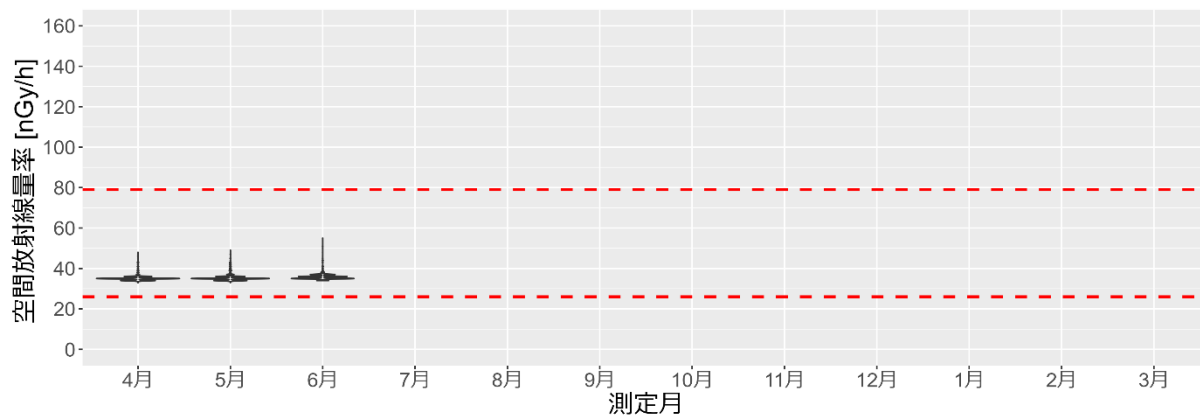
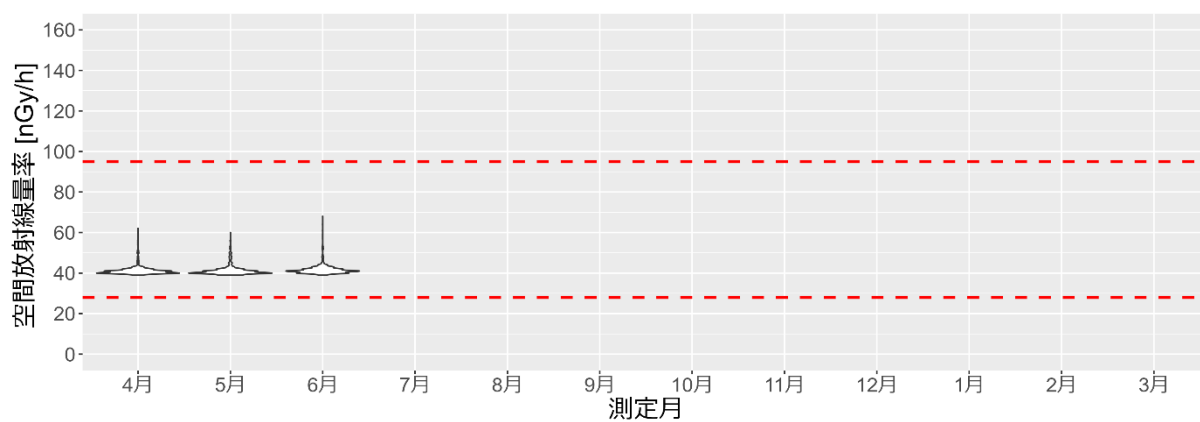


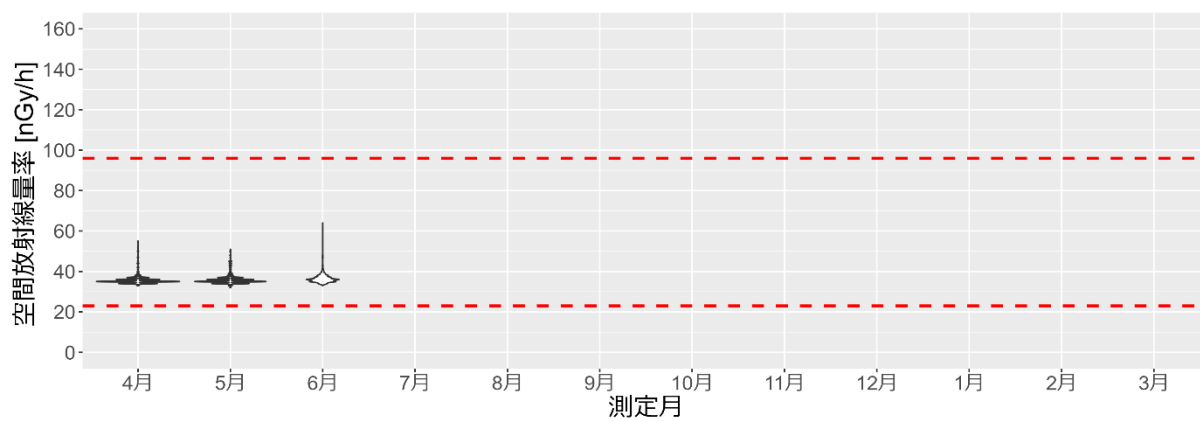
図 I - 3 - 1 b 空間放射線量率連続測定結果 (可搬型モニタリングポスト)



中浜公民館



大篠津公民館



和田公民館

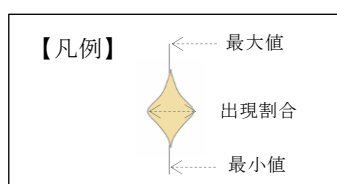
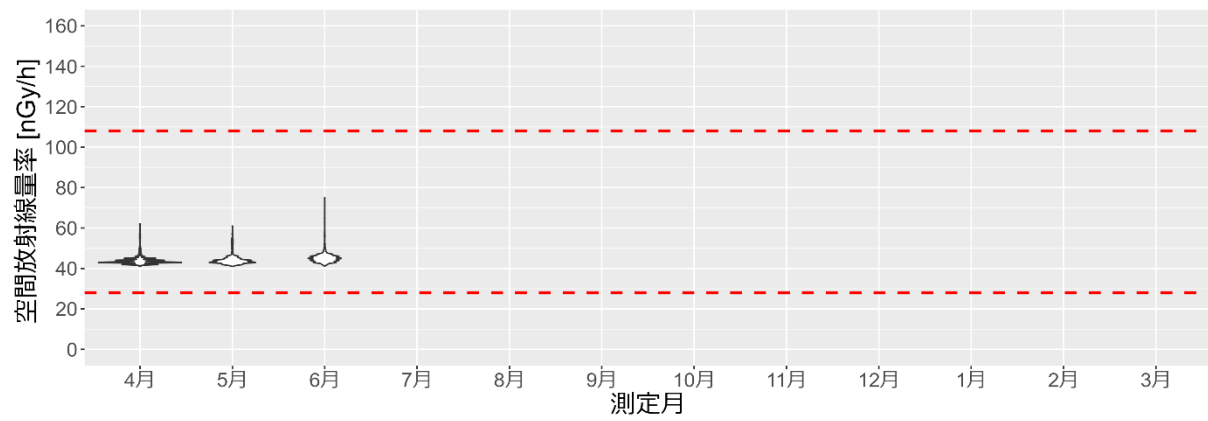
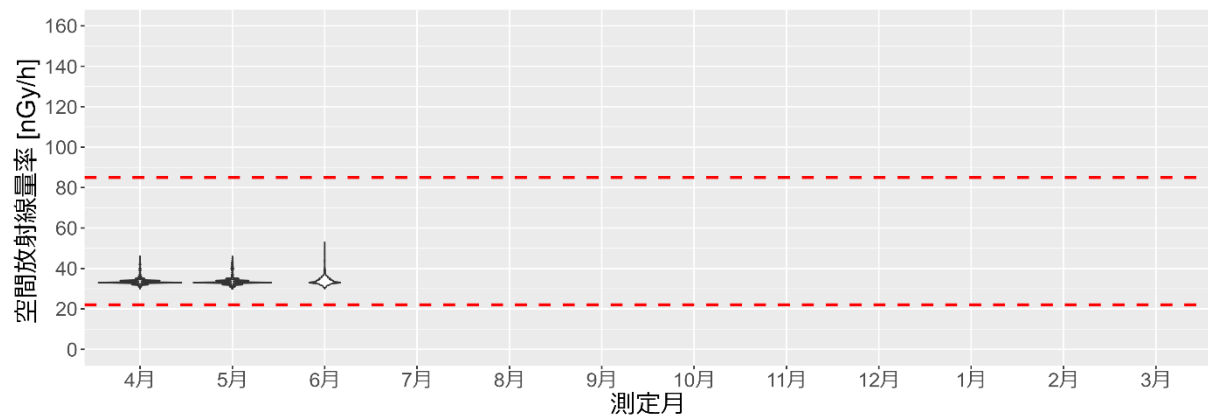


図 I - 3 - 1 c 空間放射線量率連続測定結果（可搬型モニタリングポスト）



夜見公民館



彦名公民館

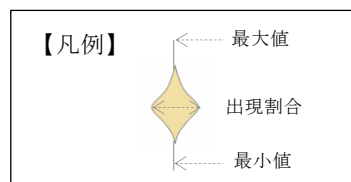
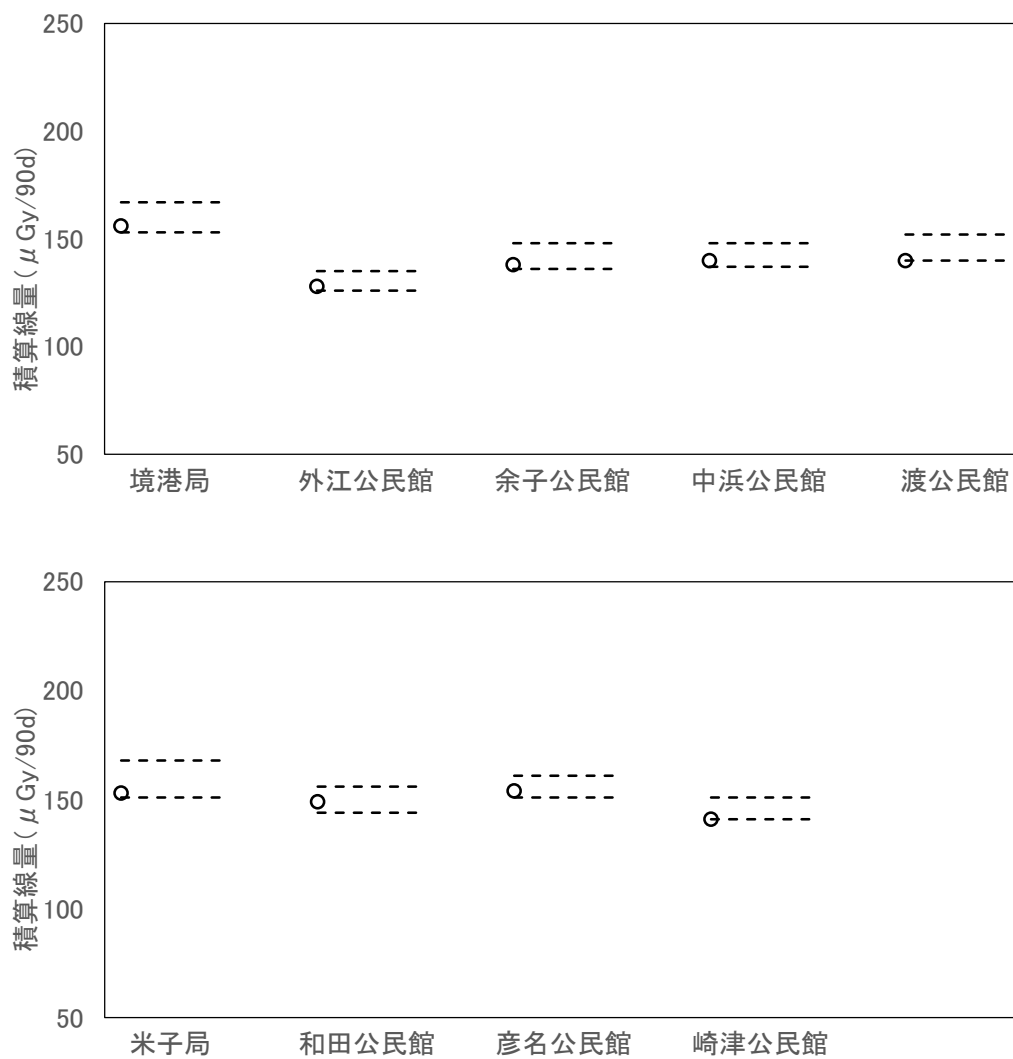


図 I - 3 - 1 d 空間放射線量率連続測定結果（可搬型モニタリングポスト）

(イ) 積算線量測定

9 地点について、平常の変動幅の範囲内であった。



注 1 : ○は第 1 四半期の測定結果、点線は平常の変動幅を示す。

図 I - 3 - 2 積算線量の測定結果 (第 1 四半期まで)

イ 大気浮遊じん全 α 及び全 β 放射能の連続測定

第1四半期の米子局の大気浮遊じん全 α 放射能の最高値（1,814 mBq/m³）について、平常の変動幅の上限（1,798 mBq/m³）を超過した。全 α 放射能の最高値を観測したのは令和7年6月19日午前8時で、風速0.6 m/sだったこと、平成14年度の測定開始からの測定実績5～2,481 mBq/m³の範囲であることから、主に地表面から発生したラドン子孫核種による自然変動と考えられた。

境港局の大気浮遊じん全 α 放射能及び全 β 放射能並びに米子局の大気浮遊じん全 β 放射能の連続測定結果は、いずれも平常の変動幅の範囲内であった。

表 I-3-1 大気浮遊じんの全 α 放射能、全 β 放射能の概要（第1四半期まで）

項目	測定地点	最高値	最低値	平常の変動幅	単位
全 α 放射能	境港局	1,380	21	6～1,616	mBq/m ³
	米子局	<u>1,814</u>	20	5～1,798	
全 β 放射能	境港局	3,426	53	18～4,729	
	米子局	4,342	51	18～4,800	

注1：200L/分で3時間集じん後、3時間測定。

注2：平常の変動幅は、R02～R06年度の5年間の最小値から最大値までの範囲。

注3：下線部は平常の変動幅の範囲外であることを示す。

ウ 環境試料中の放射性核種

(ア) γ 線スペクトロメトリー

第1四半期の分析結果では、米子局で採取した降下物から Cs-137（4月：0.18 MBq/km²、5月：0.48 MBq/km²）が検出され、5月分が平常の変動幅の上限（0.18 MBq/km²）を超過した。このことから要因調査を行ったところ、要因の1つとして米子局周辺の圃場の土や黄砂が降下物に混入したことによる影響などが考えられた（Ⅲ 検証1 参照(p34)）。

そのほかの分析結果では測定対象物質は検出されなかった。

表 I-3-2 γ 線スペクトロメトリーの分析結果の概要（第1四半期まで）

区分	試料数	Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	単位
大気	24(6)	ND	ND	ND	ND		ND	ND	mBq/m ³
降下物	24(6)	ND	ND	ND	ND		ND	<u>0.18, 0.48</u>	MBq/km ²
陸水	2(1)	ND	ND	ND	ND		ND	ND	mBq/L
植物	2(0)								Bq/kg 生
土壌	1(0)								Bq/kg 乾土
海水	2(1)	ND	ND	ND	ND		ND	ND	mBq/L
農産物	3(0)								Bq/kg 生
海産生物	4(1)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	Bq/kg 生

注：試料数のカッコ内は第1四半期までの試料数

注：下線は平常の変動幅の範囲外であることを示す。

(イ) トリチウム分析

陸水（１試料）から H-3 が検出されたが、他測定地点の平常の変動幅の範囲内であり、水道水の過去の測定結果と同レベルであった。

海水（１試料）からは H-3 は検出されなかった。

表 I - 3 - 3 トリチウム（H-3）の分析結果の概要（第 1 四半期まで）

区分	試料	境港市上道		米子市河崎		米子市福市		単位
		測定結果	平常の変動幅	測定結果	平常の変動幅	測定結果	平常の変動幅	
陸水	水道水	(令和 8 年度測定予定)	ND～0.47	(令和 9 年度測定予定)	ND～0.37	0.32 (11 月採取)	ND	Bq/L

区分	試料	境港市昭和町		米子市大篠津町		単位
		測定結果	平常の変動幅 (暫定値)	測定結果	平常の変動幅	
海水	海水	ND (11 月採取)	0.14 ～ 0.18	(令和 8 年度測定予定)	ND～0.39	Bq/L

(ウ) 放射化学分析（Sr-90）

陸水（１試料）について、現在測定中。

表 I - 3 - 4 ストロンチウム（Sr-90）の分析結果の概要（第 1 四半期まで）

区分	試料	境港市上道		米子市河崎		米子市福市		単位
		測定結果	平常の変動幅 (暫定値)	測定結果	平常の変動幅	測定結果	平常の変動幅	
陸水	水道水	(令和 8 年度測定予定)	1.0～1.1	(令和 9 年度測定予定)	0.73, 0.78	5 月分測定中, (11 月採取)	(R07～)	mBq/L

区分	試料	境港市馬場崎町		米子市河崎		単位
		測定結果	平常の変動幅	測定結果	平常の変動幅	
土壌	公園	(7月採取)	0.30 ～ 0.43			Bq/kg 乾土
	グラウンド [※]			(令和8年度 測定予定)	ND～ 0.47	

(2) 測定項目別の結果

ア 空間放射線

(ア) 空間放射線量率連続測定

表 I－3－5 固定型モニタリングポストの連続測定結果（1 時間値）
(単位：nGy/h)

地点	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	平常の変動幅
境港局	最高値	79	75	84											145
	最低値	54	52	54											34
	平均値	56	56	56											—
米子局	最高値	72	69	82											122
	最低値	50	50	50											37
	平均値	52	53	53											—

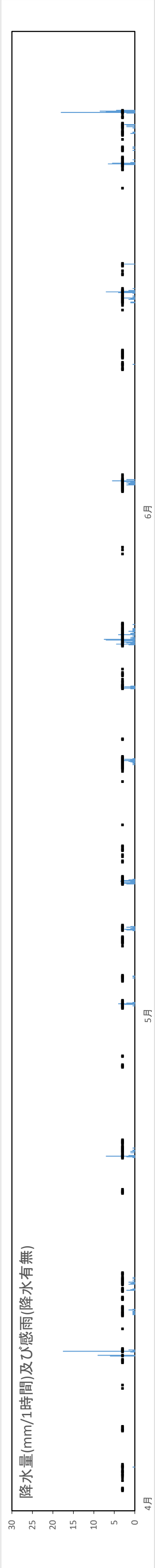
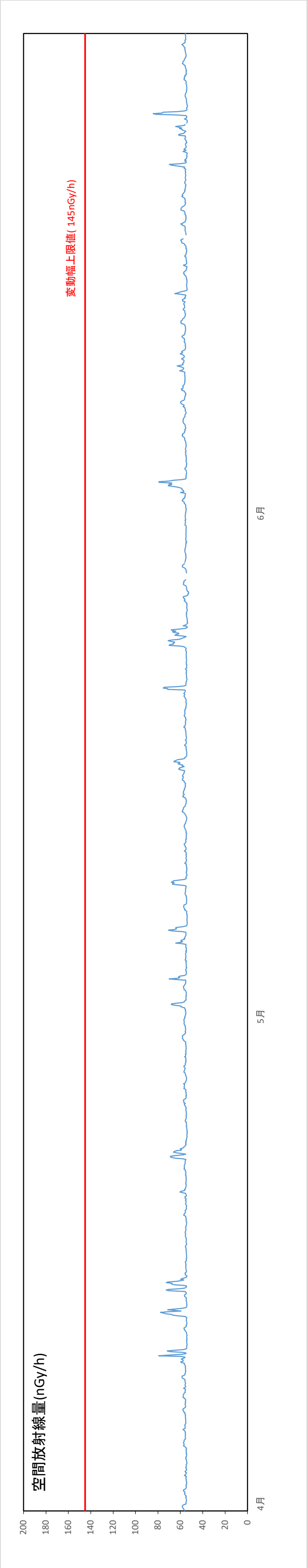
注1:「平常の変動幅」:前年度までの5年間(R02～R06)の最小値から最大値までの範囲。

表 I - 3 - 6 可搬型モニタリングポストの連続測定結果（1 時間値）
 (単位：nGy/h)

地点	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	平常の変動幅
外江 公民館	最高値	45	45	52											92
	最低値	28	28	28											19
	平均値	30	30	30											—
余子 公民館	最高値	54	52	63											107
	最低値	33	33	33											23
	平均値	35	35	36											—
中浜 公民館	最高値	48	49	55											79
	最低値	33	33	34											26
	平均値	35	36	36											—
大篠津 公民館	最高値	62	60	68											95
	最低値	39	39	39											28
	平均値	41	41	42											—
和田 公民館	最高値	55	51	64											96
	最低値	33	32	33											23
	平均値	36	36	37											—
夜見 公民館	最高値	62	61	75											108
	最低値	41	41	41											28
	平均値	44	44	45											—
彦名 公民館	最高値	46	46	53											85
	最低値	30	30	30											22
	平均値	34	34	34											—

注1:「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの5年間(R02～R06)の最小値から最大値までの範囲。

境港局



米子局

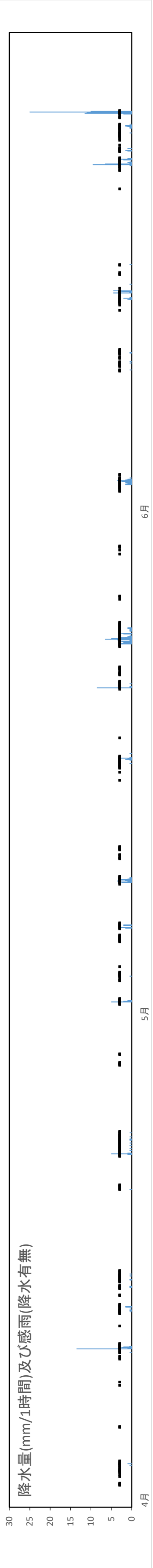
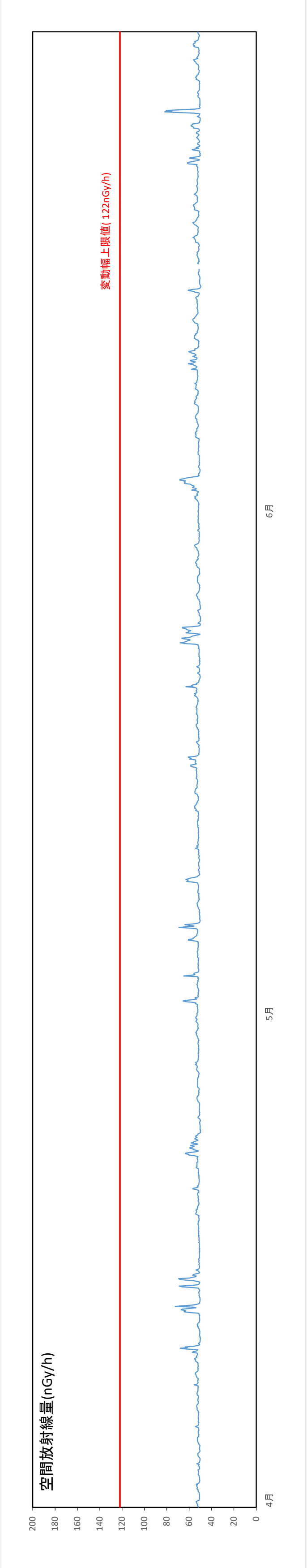


図 I ー3ー3a 空間放射線量率と降水量の関係(令和7年度第1四半期、1時間値)

(イ)積算線量測定

表 I - 3 - 7 積算線量の測定結果

(単位:上段 $\mu\text{Gy}/90\text{d}$ 、下段 $\mu\text{Gy}/\text{h}$)

測定地点	第1四半期 (4～6月)	第2四半期 (7～9月)	第3四半期 (10～12月)	第4四半期 (1～3月)	平常の変動幅 (暫定値)	年間線量 (mGy/365d)
境港局	156 (0.072)				153 ～ 167 (0.071 ～ 0.077)	
米子局	153 (0.071)				151 ～ 168 (0.070 ～ 0.078)	
外江公民館	128 (0.059)				126 ～ 135 (0.058 ～ 0.063)	
余子公民館	138 (0.064)				136 ～ 148 (0.063 ～ 0.069)	
中浜公民館	140 (0.065)				137 ～ 148 (0.063 ～ 0.068)	
和田公民館	149 (0.069)				144 ～ 156 (0.067 ～ 0.072)	
彦名公民館	154 (0.071)				151 ～ 161 (0.070 ～ 0.075)	
渡公民館	140 (0.065)				140 ～ 152 (0.065 ～ 0.076)	
崎津公民館	141 (0.065)				141 ～ 151 (0.066 ～ 0.070)	

注1:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲とするが、測定開始から10年経過しないため、暫定値(H28～R06年度)とする。

注2:下段()内の数値は、当該期間における1時間当たりの線量率に換算したもの。

イ 大気浮遊じん全 α 及び全 β 放射能の連続測定

表 I - 3 - 8 大気浮遊じんの測定結果

(単位：mBq/m³)

項目	地点	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	平常の変動幅
全 α 放射能	境港局	最高値	1,146	942	1,380											1,616
		最低値	21	28	28											6
		平均値	248	218	284											
	米子局	最高値	1,094	1,360	1,814											1,798
		最低値	23	20	37											5
		平均値	269	254	371											
全 β 放射能	境港局	最高値	3,141	2,674	3,426											4,729
		最低値	53	76	79											18
		平均値	664	593	744											
	米子局	最高値	2,595	3,716	4,342											4,800
		最低値	51	52	101											18
		平均値	674	639	920											
全 β — 全 α	境港局	最高値	3.1	3.0	3.1											
		最低値	2.4	2.5	2.4											
		平均値	2.7	2.7	2.6											
	米子局	最高値	2.9	2.8	2.9											
		最低値	2.3	2.4	2.3											
		平均値	2.5	2.5	2.5											

注1:3時間集じんし、3時間測定。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの5年間(R02～R06年度)の最小から最大値までの範囲。

ウ 環境試料中の放射性核種（γ線スペクトロメトリー）
（ア）大気（浮遊じん）

表 I－3－9 大気(浮遊じん)の測定結果

(単位:mBq/m³)

採取地点	採取期間	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅(暫定値)
		Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
境港市上道町（境港局）	4月1日～4月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.8	0.52	ND
	5月1日～5月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.2	0.41	
	6月1日～6月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	2.2	0.43	
米子市河崎（米子局）	4月1日～4月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.4	0.43	ND ～ 0.010
	5月1日～5月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.0	0.44	
	6月1日～6月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	2.3	0.42	

注1:NDは検出下限値未満を示す。
注2:H30年度から1ヶ月間の連続採取(H24～29年度は月1回の24時間採取)
注3:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H27～R06年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

(イ) 降下物

表 I－3－10 降下物の測定結果

(単位:MBq/km²)

採取地点	採取期間	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅 (暫定値)
		Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
境港市上道町 (境港局)	4月1日～5月2日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	120	5.9	ND
	5月2日～6月2日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	97	2.1	
	6月2日～7日1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	54	ND	
米子市河崎 (米子局)	4月1日～5月2日	ND	ND	ND	ND		ND	0.18	93	3.3	ND～ 0.18 (注3)
	5月2日～6月2日	ND	ND	ND	ND		ND	<u>0.48</u>	98	6.3	
	6月2日～7日1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	57	2.9	

注1:NDは検出下限値未満を示す。
注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H27～R06年度)の最小値から最大値までの範囲とする。
注3:米子局はH29年度に採取高を1mから3mに変更したため、「平常の変動幅」は、H29～R06年度に採取高3mで行った結果の最小～最大値を記載した。

(ウ) 陸水

表 I-3-11 陸水の測定結果

(単位:mBq/L)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
水道水	原水	米子市福市	R07.05.02	ND	ND	ND	ND		ND	ND	ND	42	ND
			(11月予定)										

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H27～R06年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

(エ) 植物

表 I-3-12 植物の測定結果

(単位:Bq/kg生)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
松葉	二年葉	境港市幸神町	(10月予定)										0.18 ~ 0.79
		米子市夜見町	(10月予定)										0.071 ~ 0.18

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H27～R06年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

(オ) 土壌

表 I-3-13 土壌の測定結果

(単位:Bq/kg乾土)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
公園	表層	境港市馬場崎町	(7月予定)										ND

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H27～R06年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

(カ) 海水

表 I-3-14 海水の測定結果

(単位:mBq/L)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
海水	表層水	境港市昭和町(美保湾)	R07.05.14	ND	ND	ND	ND		ND	ND	ND	220	ND
			(11月予定)										

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H27～R06年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

(キ) 農産物

表 I - 3 - 15 農産物の測定結果

(単位:Bq/kg生)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
米	精米	米子市夜見町	(10月 予定)										0.13 ~ 0.22
白ネギ	可食部	境港市中海干拓地	(12月 予定)										ND
ダイコン	根	境港市中海干拓地	(12月 予定)										ND

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H27～R06年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

注3:米は生産者の変更に伴い、R01年度から採取地点を米子市夜見町の同一地区内の別の圃場に変更した。

(ク) 海産生物

表 I - 3 - 16 海産生物の測定結果

(単位:Bq/kg生)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
ワカメ	可食部	境港市近海	R07.04.03	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.2	190	ND
イワガキ	身		(7月 予定)										ND
セイゴ	身		(1月 予定)										0.10 ~ 0.20
ナマコ	身		(3月 予定)										ND

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H27～R06年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

エ 環境試料中の放射性核種（トリチウム分析）

表 I-3-17 トリチウムの測定結果

(単位:Bq/L)

区分	試料	部位	採取地点	採取年月日	測定値	平常の変動幅
陸水	水道水	原水	米子市福市	R07.05.02	<u>0.32</u>	ND
				(11月予定)		
海水	海水	表層水	境港市昭和町(美保湾)	R07.05.14	<u>ND</u>	0.14 ~ 0.18 (暫定値)
				(11月予定)		

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H27～R06年度)の最小値から最大値までの範囲とするが、海水(境港市昭和町)は測定開始から10年経過していないため、暫定値(R05～06年度)とする。

オ 環境試料中の放射性核種（ストロンチウム分析）

表 I-3-18 ストロンチウム(Sr-90)の測定結果

区分	試料	部位	採取地点	採取年月日	測定値	平常の変動幅 (暫定値)	単位
陸水	水道水	原水	米子市福市	R07.05.02	測定中	(R07～)	mBq/L
				(11月予定)			
土壌	公園	表層	境港市馬場崎町	(7月予定)		0.30～0.43	Bq/kg乾土

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲とするが、測定開始から10年間のデータがないため暫定値(土壌:H30～R06年度)とする。